

自己評価と共に客観的な評価を行うことで、より詳しく教育活動全般にわたった改善策をたてることができる。保護者の意識や子どもの思いを理解することで、日々の学級経営のあり方や授業改善に役立てることが出来る。学校教育の改善とともに、地域ぐるみの学校教育を推進するための課題の共有化が図れる。

		評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中 間	4	教育指導計画書の作成		
	5		第1回開催 学校運営協議会開設準備委員会	評価年間計画をHPで公表
	6			
	7			
	8			
	9	日曜参観 保護者・児童アンケート 地域の方々に参観の感想（アンケート） 教職員自己評価	第2回開催 学校運営協議会開設準備委員会 学校評価についての意見交換	
	10	アンケートの集計 評価結果の分析と考察 今後の改善策	第1回開催 学校運営協議会	HP・学校便りにてアンケート結果及び分析と考察を公表 今後の改善策を公表
	11	研究発表会参加者アンケート		
年 間	12			
	1	教職員自己評価 保護者・児童アンケート アンケートの集計 評価の分析と考察	第2回開催 学校運営協議会	HP・学校便りにて結果・改善策を公表
	2	今後の改善策		
	3	年度末反省 次年度の方針共通理解	第3回開催 学校運営協議会 年度末反省・次年度方針説明	